

稟議書

〇〇部 〇〇〇〇

「樹脂部品の原価低減・CO2排出量削減用設備30台導入稟議」

表題の件につき、ご検討いただきたくお願い申し上げます。

記

背景・課題・目的

高騰する樹脂価格と樹脂不足の一方で、客先からのコストダウン要請による原価低減の必要性、樹脂供給不足により顧客への製品供給は逼迫し、供給責任の説明が顕在化している。加えて、2050年カーボンニュートラルへ向けての中期目標達成の課題解決へ向け、具体的取組みを検討した。今回検討したのは、その中でも射出成形工程におけるスプールランナーのリサイクル率を向上させ、原価低減、納期遅延防止、CO2削減の課題解決に対応する。

期待する効果

1. PP年間樹脂購入量27トン削減による原価低減 ￥81,460（千円）
 - a. 累計正味現在価値換算 ￥81,460（千円）
2. 27トンの樹脂廃棄料金の削減額 ￥5,616（千円）
 - a. 累計正味現在価値換算 ￥5,430（千円）

合計 ￥86,890（千円）

①②共に対象設備の法定償却年数8年にて算出

総投資金額 ￥25,200（千円）

投資回収期間2年4ヶ月 資本コストを勘案した投資回収期間・投資収益は当社規準を満たしており、本稟議案件の投資効果は妥当と判断します。

※算出根拠は『期待する効果計算』の添付書通り

3. 年間CO2の排出量を115トン削減

a. PP年間樹脂購入量27トン削減による

本稟議案件によるCO2削減効果は改正省エネ法、環境省グリーンバリュープラットフォームホームスコープ3対応のCO2排出削減となり、当社環境目標に沿った中期計画達成に寄与するCO2削減量となる。

※算出根拠は『期待する効果計算』の添付書通り

4. 製品供給の納期遅延リスクと過剰在庫の軽減

a. PP樹脂供給のリードタイムが長期化する中、リサイクル材を活用し、PP樹脂全体の調達量を削減することで、当社製品供給の納期遅延リスクと過剰在庫軽減に対応する

期待する効果は以上の4点です。

各項目の期待効果の検証は単年度事業計画に盛り込み、PDCAサイクルにて検証します。

懸念事項

リサイクル率アップによる品質への影響

貸出機を生産ラインへ配置し、リサイクル材を実際の成形にて実験を実施。生産された完成品の外観、強度試験の結果は品質規準の範囲内であることを確認した。

また、量産試験の連続成形中のMI値（樹脂の流動性の値）はリサイクル率10%時と25%時において、大きな変化は見られなかった。 よって、リサイクル率25%への変更において、品質及び量産技術に関わる懸念事項は解消されている。

購入製品名及び予算

粒断機SPCⅢ-750

- 単価 ￥840（千円）
- 台数 30台
- 投資金額合計 ￥25,200（千円）

以上